

5

基本問題 気象とその変化(1)

まずは僕が相手だ!



気象観測と天気の変化

学習した日

()分 ()分

1 気象観測の方法

- (1) 大気の様子を、目や観測機器を使って調べることを()という。
- (2) 大気の温度を(①)といい、地上約1.5mで、風通しのよい直射日光の当たらない(②)などの中で測定する。
- (3) 空気の湿り気の程度を()といい、整数値[%]で表す。
- (4) 地球を取り巻く大気の重さによる圧力を、(①)または単に(②)といい、単位は(③)である。
- (5) 降水量は()を使ってはかり、[mm]で表す。
- (6) 北から南に吹いていく風を()という。
- (7) 空気の流れの速さを()といい、10分間の平均を[m/秒]で求める。
- (8) 風の強さを風力といい、()階級の風力階級で表す。
- (9) 空全体に対して、雲がしめる面積の割合を()という。
- (10) 雲の形を雲形といい、10種類に分けられるが、かみなり雲ともよばれるかたまり状の雲を()雲という。
- (11) 10種雲形の中で、雨雲ともいい、雨や雪を降らす雲を()雲という。

1

(1)	
(2)	①
	②
(3)	
	①
(4)	②
	③
(5)	
(6)	
(7)	
(8)	
(9)	
(10)	
(11)	

2 天気の変り方

- (1) 1日の最高気温と最低気温の差を()差といい、天気のよい日はその差が大きく、天気の悪い日はその差が小さい。
- (2) 晴れの日の気温は、(①)時ごろが最高になり、そのとき、湿度は、ほぼ(②)になる。
[5 10 14 16 18 最高 最低]
- (3) ふつう、気圧が(①)になると天気はよくなり、気圧が(②)になると天気は悪くなる。

2

(1)	
(2)	①
	②
(3)	①
	②

3 露点と水蒸気量

- (1) 空気の温度を下げると、ある温度で、水蒸気の一部が(①)して水滴になる。このときの温度をその空気の(②)という。
- (2) 空気中に含まれている水蒸気が多ければ、露点は()くなる。

3

(1)	①
	②
(2)	

4 空気中の水蒸気量

- (1) 一定の体積の空気を含むことができる水蒸気量には限度があり、もうこれ以上、水蒸気を含むことができない状態を(①)状態といい、このときの水蒸気量を(②)という。
- (2) ふつう、空気の湿り気を表すのは、絶対湿度に対して()という。

4

(1)	①
	②
(2)	